

グループ
研究の成果を発表する高校生の



講演する北里氏（左）
と志多田研究員

目指せ！「NEXT 柴三郎」

北里柴三郎記念研究セミナー 高校生 研究成果を披露

北里柴三郎記念研究セミナーが12日（木）、50周年記念館であり、熊本サイエンスコンソーシアム（KSC）に加盟する5高校の生徒たちが、日頃の研究の成果を発表しました。小国町出身の世界的な医学者北里柴三郎が新千円札の肖像となったことを記念し、熊本大学医学部同窓会「熊杏会」が1～12月に毎月行っている顕彰事業の一環。今回は、本学との共催で行われました。

本学の木下統晴理事長、森田淳士KSC会長（第二高校校長）、佐藤賢文・熊本大学大学院ヒトレトロウイルス共同研究センター教授（熊杏会事務局）が参加生徒たちに対して「『NEXT柴三郎』を目指して、貴重な経験を次のステップに生かしてほしい」などとあいさつ。柴三郎のひ孫にあたる北里英郎・北里大名誉教授（北里柴三郎記念館長）が「現代に生きる北里柴三郎の功績」と題して記念講演したのに続き、本学生物毒素・抗毒素共同研究講座の志多田千恵研究員が「破傷風を解き明かす！ その進化と最新研究」のテーマで講演しました。

引き続き行われた高校生による研究テーマ発表

では、天草（オンライン参加）、鹿本、宇土、熊本北、第二の計5高校のグループが、持ち時間5分で次々と演壇に立ちました。天草高校は地元の海に繁殖する海藻アマモ、鹿本高校は菊池川流域で大量に繁殖しているブラジルチドメグサのそれぞれの利活用法について発表。宇土高校は同校が実践している「ウトウトタイム」の効果的な実施方法について、熊本北高校は鉄の電解精錬に関連した研究成果を披露しました。また、第二高校はイチゴハダニが農作物にどのようにして食害を与えているかということについて発表しました。

発表後は、北里氏、佐藤氏に加え、熊本大学大学院生命科学研究部生命倫理学講座の門岡康弘教授、本学生物毒素・抗毒素共同研究講座の高橋元秀教授が壇上に登場し、会場の約200人の高校生と活発な討論を行いました。最後に総括に立った竹屋元裕学長は「身近なテーマに疑問を持ちながら、探究する心を忘れないでほしい」と、呼び掛けました。（NL編集部）

高校生との討論に臨む、
岡氏、佐藤氏、北里氏、
高橋氏



壇上に並んだ4氏に対し、会場から質問する高校生



メダルラッシュに沸いた車いすテニス

リハビリテーション学科理学療法学専攻 久保下 亮 准教授

8月28日～9月8日にフランス・パリで開催された「パリ2024パラリンピック競技大会」において、車いすテニス日本代表にトレーナーとして帯同してきました。今回は8月19日からフランス・アグドで行われた日本女子チームの事前合宿から参加して、選手のコンディショニング等のサポートを行いました。

本合宿は、パリパラ大会直前の合宿なので普段以上の緊張感の中、トレーナー業務を進めてきました。そして、パリパラ大会では村外スタッフとして、日本スポーツ振興センター(JSC)のサポートハウスと大会会場でトレーナー業務を行い、日本選手のコンディショニングをサポートし、最高の試合が行えるように努めてきました。

歓喜の瞬間 一生の思い出に

選手達は、とても素晴らしい結果を出してくれ、何事にも変えがたい感動を与えてくれました。金メダルの瞬間、コートサイドから応援しており、歓喜した瞬間は一生の思い出となりました。この経験は現場でトレーナー活動を行う特権の一つだと思っています。このパリ2024パラリンピック競技大会で経験したことや学んだことを後輩達、学生達に伝えて行きたいと思っています。



パリ・パラ大会で、車いすテニス日本代表のコンディショニングをサポートした筆者(左)

試合結果は以下の通りでした。

- ・男子シングルス…金メダル(小田凱人)
- ・女子シングルス…金メダル(上地結衣)
- ・男子ダブルス…銀メダル(小田凱人・三木拓也)
- ・女子ダブルス…金メダル(上地結衣・田中愛美)

「ためらわず自己申告を」 利益相反研修会

令和6年度の第1回利益相反に関する研修会が13日(金)、3108M講義室で開催され、本学顧問弁護士の馬場啓氏(桜樹法律事務所)が、大学における利益相反の発生理由や対策などについて説明しました。

馬場氏は、大学における利益相反の現状について「大学の教職員に対して、学内での教育や研究に従事すること以外に、社会貢献としての産学連携活動への参入を求める傾向が年々強まっている。そのような状況に教職員が順応しようとする結果、大学における利益相反の発生は不可避なものとなってきている」と説明しました。また、利益相反の発生判断基準やチェックポイントなどについて、利益相反マネジメント規程を踏まえながら解説しました。

馬場氏は、近年の大学の動向を踏まえた上で細かな対策について説明した後、「利益相反は決して悪いことではない。発生した際は自身と法人全体を守るためにも、ためらわず自己申告してほしい」と利益相反発生時の対応について注意を呼びかけました。(NL編集部)



「大学における利益相反の発生は不可避」と話す馬場氏

県内外の100施設が概要説明

リハ学科合同就職説明会

リハビリテーション学科3、4年次生を対象としたWebリアルタイム形式(Zoom使用)の合同就職説明会を5日(木)、6日(金)、開催しました。施設情報を把握するとともに、自分の職業観を再確認し、進路決定の一助とするのが狙い。

2日間で計100(県内45、県外55)の医療施設が参加し、業務内容や教育体制、採用情報などについて説明しました。学生からは「県内外の様々な分野

や領域の説明を聞くことができました」、施設からは「学生の皆さんがカメラONで真剣に聞いてくださり、非常に話しやすかった」などの感想がありました。

これから同学科4年次生の就職活動がピークを迎えます。今回の経験を糧にして、希望する施設への内定を勝ち取ってほしいと思います。

(就職・実習支援課)

看護学科の模擬授業で、高齢者体験をする生徒たち



熊本西高校の1年生約110人が11日（水）、本学を訪問し、施設見学や模擬授業を体験しました。同高校が毎年行っている「西高アカデミックインターンシップ（NAIS）」の一環。NAISは、大学や専門学校で多様な授業・実習を体験することで、幅広い視野や実社会のニーズを踏まえた発想を身に付けることを目的としています。生徒たちは、熊本県内の私立7大学と専門学校2校を訪問します。

この日、生徒たちは大学の概要について入試・広報課の職員から説明を受けた後、学内施設を見て回りました。午後からは5学科専攻に分かれ、模擬授業を受講しました。生徒たちからは、「理学療法士と作業療法士の違いがよく分かった」「DNA抽出の実験が楽しかった」などの感想が聞かれました。

（入試・広報課）

思考をクリアに！ 前向きに！



いろいろなことに興味を持ち、やってみるけど、なかなか続かない経験をしていて、何かを楽しく継続する趣味というものを長年持っていませんでした。年齢を重ね、自分の身体的変化（代謝や柔軟性など）を実感している時に、自宅近くのヨガ教室に出会いました。

ヨガ教室というと、インストラクターとグループレッスンというイメージでしたが、そこはパーソナルでのレッスンもあり、グループレッスンに抵抗があったので、とりあえずパーソナルから始めてみました。レッスンで

は、いきなりアーサナ（体位法・姿勢）をするのではなく、呼吸を整えながら自分の身体を調整していきます。「ヨガ=いろいろなポーズをして柔軟性を高める」と思っていました間違いでした。

呼吸法や瞑想を組み合わせながら、自己対話をすることで身体だけではなく思考もクリアになる気がします。そして、視野も広がり前向きに行動できている部分が増えてきました。気づけば1年続いており、今では日常生活の一部となっています。

リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻

松尾 朗 講師



ネット
よもやま話

SMS内のリンク 安易なクリックは禁物

フィッシング対策

2 皆さんは「フィッシング」ってご存じでしょうか？ 警察庁によりますと、フィッシングとは「実在のサービスや企業をかたり、偽のメールやSMS（携帯電話のショートメッセージ）で偽サイトに誘導し、IDやパスワードなどの情報を盗んだり、マルウェアに感染させたりする手口」のことです。

情報を盗まれると、アカウントを乗っ取られてお金を奪われたり、インターネット通信販売サイトで勝手に買い物を買われます。

電子メールに記載されたリンクは偽装可能なほか、正規サイトに類似したドメイン名を付したフィッシングサイトも多く存在

することから、見た目でリンクの真偽を判断することは非常に困難です。

電子メールやSMS内のリンクを安易にクリックせず、あらかじめ公式サイトを「お気に入り」や「ブックマーク」に登録しておいたり、公式アプリを活用したりするなどして正しいサイトに接続するようにしてください。

なお、金融機関が、ID、パスワード等をメールやSMSで問い合わせることはありません。不安な場合はIR・情報システム室までお問い合わせください。

（共通教育センター 山鹿敏臣）

■フィッシング対策（警視庁）

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/countermeasures/phishing.html>

週間行事予定（9月24日～9月30日）	
9/24（火）	9月卒業式
9/25（水）	後期授業開始